

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名)	ノリタケ ワックスセップ
会社名	クラレノリタケデンタル株式会社
住所	東京都千代田区大手町2-6-4 常盤橋タワー
担当部署	品質保証室
電話番号	03-6701-1730
Fax番号	03-6701-1805
緊急連絡先	0120-330-922 (月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00) 050-3499-2717 (上記フリーダイヤル営業時間外)
推奨用途および使用上の制限	歯科技工用分離材
整理番号	1000-000001

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険	GHS分類に該当する項目はない	
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分2
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分2

シンボル



注意喚起語 危険有害性情報

危険
強い眼刺激
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
臓器の障害
呼吸器への刺激のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害
水生生物に毒性
長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策	<ul style="list-style-type: none">・取扱い後は手、顔をよく洗うこと。・粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。・【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。・使用前に取扱説明書を入手すること。・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。・環境への放出を避けること。
応急措置	<ul style="list-style-type: none">・皮膚についた場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。・皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

- ・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当を受けること。
- ・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること。
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合:医師の診察/手当を受けること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当を受けること。
- ・気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 保管 ・直射日光を避け、冷所に保管すること。
- ・容器を密閉しておくこと。
- 廃棄 ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

3. 組織・成分情報

組成情報は営業上の秘密に該当するため、含有量を幅記載とする。

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度 (%)	CAS番号	化審法 公示番号	安衛法(閾値)		PRTR法 管理番号	毒劇法
				表示	通知		
ポリ(オキシエチレン)オクチルフェニルエーテル	20-30	9036-19-5	7-172	非該当	非該当	408	非該当
イソプロピルアルコール※1	50-60	67-63-0	2-207	≥1%	≥0.1%	非該当	非該当
プロピレングリコール※2	20-30	57-55-6	2-234	非該当	非該当	非該当	非該当
グリセリン	1-10	56-81-5	2-242	非該当	非該当	非該当	非該当
着色剤	<0.1	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当	非該当

※1 生殖毒性:区分2、特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分1(中枢神経系、全身毒性)、特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分1(血液系)、区分2(呼吸器、肝臓、脾臓)

※2 特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分1(中枢神経系、血液系)、特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分1(中枢神経系、呼吸器)

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。

皮膚に付着した場合

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ、又は取り除く。

皮膚を石鹸と多量の流水又はシャワーで洗う。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合は医師の診察/手当を受ける。

眼に入った場合

水で15分間注意深く洗う。その際、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

水で口の中をよくすすぐ。

気分が悪いときは、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤、散水、泡消火剤、

使ってはならない消火剤

棒状注水

特有の危険有害性

火災によってCO₂、CO、NO_x等の有害性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

消火作業は可能な限り風上から行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。

保護具および緊急措置

回収が終わるまで充分な換気を行う。

換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。

環境に対する注意事項

流出した製品の河川、水路、下水溝などへの流出を防止する。

回収・中和

適切なウエス、ペーパー等で拭き取るかスコップ等ですくい取り適切な容器に回収する。

封じ込め及び浄化方法・機材 適応される規制に従って廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱い注意事項 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の適切な保護具を着用する。
取扱い後に手、顔等をよく洗う。
使用前に取扱説明書をよく読む。
ミスト/蒸気を吸入しないこと。
本品に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある作業者は使用しない。

保管

保管条件 直射日光を避け、冷所に保管する。
容器包装材料 オリジナルの容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 (作業環境評価基準) イソプロピルアルコール 作業環境評価基準(2004) <= 200 ppm

許容濃度

日本産業衛生学会 イソプロピルアルコール 400ppm; 980mg/m³ (最大値)
ACGIH イソプロピルアルコール TWA: 200ppm
STEL: 400ppm (眼および上気道刺激; 中枢神経系損傷)

保護具

呼吸用保護具 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具 直接接触の恐れがある場合、不浸透性の適切な保護手袋を使用する
眼、顔面の保護具 保護眼鏡/顔面保護具
皮膚及び身体の保護具 保護衣

衛生対策

休憩前、作業終了時に手を洗う。過敏症の方はアレルギー性皮膚炎を発症する可能性があるため、直接接触を避ける。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	黄色
臭い	アルコール臭
融点・凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	適用外
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	
水	情報なし
有機溶剤	情報なし
n-オクタノール/水分配係数	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	1 g/cm ³
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
その他のデータ(放射性、かさ密度、 燃焼持続性)	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の取扱いでは安定。
化学的安定性	通常の手扱いは安定。
危険有害反応可能性	通常の手扱いは安定。
避けるべき条件	高温、過熱
混触危険物質	酸化剤、強酸、強アルカリ
危険有害な分解生成物	CO、CO ₂ 、NO _x

11. 有害性情報

成分の有害性情報

急性毒性

経口

イソプロピルアルコール ラット LD₅₀=5480 mg/kg (EHC 103, 1990)
[日本公表根拠データ]

ホリ(オキシエチレン)オクチルフェニルエーテル

ラット LD₅₀ = 1700 mg/kg (EO 8-10)

[CERI・NITE有害性評価書 105, 2006]

経皮

イソプロピルアルコール ラット LD₅₀=12870 mg/kg (EHC 103, 1990)
[日本公表根拠データ]

吸入

情報なし

皮膚腐食性/刺激性

情報なし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

イソプロピルアルコール ラット(PATY 6th, 2012et al)
[日本公表根拠データ]

ホリ(オキシエチレン)オクチルフェニルエーテル ラット 中等度の刺激性

(CERIハザードデータ集 2001-42, 2002)

呼吸器感作性

情報なし

皮膚感作性

情報なし

生殖細胞変異原性

情報なし

発がん性

イソプロピルアルコール

ヒトに対する発がん性については分類できない[IARC-Gr.3]

ヒト発がん性因子として分類できない[ACGIH-A4(2001)]:

生殖毒性

イソプロピルアルコール cat.2; PATY 6th, 2012 [日本公表根拠データ]

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分1]イソプロピルアルコール

中枢神経系、全身毒性(環境省リスク評価第6巻, 2005)

[日本公表根拠データ]

[区分3(気道刺激性)]イソプロピルアルコール

気道刺激性(環境省リスク評価第6巻, 2005)

[日本公表根拠データ]

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]イソプロピルアルコール 血液系(EHC 103, 1990)

[日本公表根拠データ]

[区分2]イソプロピルアルコール 呼吸器、肝臓、脾臓(EHC 103, 1990)

[日本公表根拠データ]

誤えん有害性

情報なし

1 2. 環境影響情報

成分の環境有害性情報

生態毒性

イソプロピルアルコール:魚類(マカ) $LC_{50} > 100$ mg/L/96hr
(環境庁生態影響試験, 1997)
甲殻類(オオシジコ)NOEC > 100 mg/L/21 days
(環境庁生態影響試験, 1997)

[水生環境有害性 短期(急性):区分1]

[水生環境有害性 長期(慢性):区分1]

ポリ(オキシエチレン)オクチルフェニルエーテル:

藻類(セネストラム) $EC_{50}=0.21$ mg/L/96hr (CERI・NITE, 2006)

残留性・分解性

イソプロピルアルコール 急速分解性があり (BODによる分解度:86% (既存点検, 1993))

ポリ(オキシエチレン)オクチルフェニルエーテル BODによる分解度:22%
(既存化学物質安全性点検データ)

生体蓄積性

グリセリン $\log Pow=-1.76$ (ICSC, 2006)

プロピレングリコール $\log Pow=-0.92$ (ICSC, 2014)

イソプロピルアルコール $\log Pow=0.05$ (ICSC, 1999)

ポリ(オキシエチレン)オクチルフェニルエーテル $BCF < 31$ (Check & Review, Japan)

土壤中の移動性

情報なし

オゾン層への有害性

情報なし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の際は、関連法規ならびに地方自治体の規準に従う。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が
その処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 : IMOの規定に従う。

UN No. : 該当しない

Proper Shipping Name : -

Class : -

Packing Group : -

航空規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う。

UN No. : 該当しない

Proper Shipping Name : -

Class : -

Packing Group : -

バルク輸送におけるMARPOL 条約附属書II 改訂有害液体 物質及びIBCコード

有害液体物質(2類):グリセリン; プロピレングリコール; イソプロピルアルコール

国内規制

陸上輸送情報 : 該当する法律に従う。

海上輸送情報 : 船舶安全法に従う。(IMOに準拠)

: 洋汚染物質_長期間有害性

ポリ(オキシエチレン)オクチルフェニルエーテル

航空輸送情報 : 航空法に従う。(ICAOに準拠)

特別安全対策

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に進行。

直射日光を避けて輸送する。

緊急時応急措置指針番号

—

15. 適用法令

化審法	優先評価化学物質 イソプロピルアルコール(政令番号102 人健康影響) プロピレングリコール(政令番号106 人健康影響)
安衛法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 : イソプロピルアルコール 作業環境評価基準 : イソプロピルアルコール 第2種有機溶剤等 : イソプロピルアルコール 危険物・引火性の物 : イソプロピルアルコール
化管法(PRTR法)	第1種指定化学物質 ホリ(オキシエチレン)オクチルフェニルエーテル(20.00%)
毒劇法	非該当
消防法	第4類 アルコール類 水溶性 危険等級II : イソプロピルアルコール
大気汚染防止法	揮発性有機化合物 : イソプロピルアルコール
海洋汚染防止法	有害液体物質 : イソプロピルアルコール
航空法	引火性液体 : イソプロピルアルコール
船舶安全法	引火性液体類 : イソプロピルアルコール
港則法	その他の危険物・引火性液体類 : イソプロピルアルコール
道路法	車両の通行の制限 : イソプロピルアルコール

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。